

『国交正常化50周年記念・写真展』30日に終了！！
ご来場の皆様、役員の皆様、大変ありがとうございました。

9月16日から30日まで富谷市役所1F市民交流ホールをお借りして『時の記憶』＝中国在住 日中カメラマンによる写真展＝を開催いたしました。この企画の中心者は元富谷日中会員で、現在は上海在住の菅原寿和さんです(紙面右下のプロフィール)。本写真展の意義に協賛された日本人5人、中国人5人に各4枚の40枚という多くの写真をプリントして送っていただきました。またメールで準備状況も心配されるなど、心一つに成功へご尽力いただきました。心より感謝いたします。



ごあいさつ

日本と中国は日中戦争を含む第2次世界大戦の後、しばらく国交がありませんでした。

様々な関係機関の協力・連携の後、1972年9月29日、当時の田中角栄、周恩来両国首相が日中共同声明に署名し、国交が再開しました。

今年は日中国交正常化50周年に当たります。この半世紀で、日本と中国の関係はいろいろと変わりました。でも、変わらないこともあります。それは日本と中国は「引越しができない隣同士」であること、国同士の関係がどのようなものであれ、市民の日常生活は営まれ、皆、平和を願っているということです。

今回、富谷市日中友好協会では、日中国交正常化50周年を記念して中国の写真展を開催することにしました。カメラマンも被写体も中国で生活している一市民です。コロナで訪中がままならない今、中国各地で生活している人々の姿や景色に思いをはせていただければ幸いです。そして私達は互いを尊重し、恒久の平和が続くことを願って止みません。

富谷市日中友好協会

〈感想ノートに寄せられた声から一部紹介〉

「すてきな写真展、ありがとうございます。“中国には全世界の景色がある”と感動。ぜひ機会がありましたら中国を訪問したくなりました。また友人と見に参ります」「上海は本当に美しい街。懐かしい街並みを思い出します。とても心にとまるシャッターチャンス、感動する一枚一枚です。中国の広大な風景をこれからも撮り続けて下さい」「50周年おめでとう。生きているうちに必ず中国に行くぞー！」「“コロナで誰もいないよ”のネコちゃん、とても可愛かったです。とても美しい写真ばかりで、また中国に帰りたと思いました」「中国の美しい風景に感動しました。自分の国ですが、懐かしく感じました。また写真展を続けてほしいです。永遠的日中友好」「老人の写真、何だか感動です」「陳さんの4枚、どれも素晴らしい」「思っていたよりも何倍も素晴らしく感動しました。また新旧の中国の発展に驚きました。私は初めて共同声明の全文を読みました。千変万化の時代と社会ですが、日中両国の友好の原点を大切にしたいと感じました」「素晴らしい写真でした。しばらく中国に行けないので懐かしい気持ちになりました。今後の新しい作品を期待しています」「素晴らしいの一言につきます。中国の懐かしい空気が目の前に迫ってくるようです」「中国の方から見た中国、日本人から見た中国の違いが感じられました。各人のアングルが素晴らしいです」「素敵な写真。故郷に帰りたくなりました」

